

月刊 白家用车

ワイド特集 新車・中古車『春』の購入ガイド

●81年度年間順位が決まった!

’82モデル販売
ランキング
アルバム

●ニューモデル詳報

NEWコ罗纳

●ライバルヒストリー

BLUEBIRD vs CORONA

●大衆車もターボ時代/
ミラージュ1400ターボ登場

●免許取得から無線機ガイドまで
モータールーム入門

●新春企画第3弾!!
BMW633i vs ソアラ
etc
●ドライバー必携!!
便利工具オールカタログ



82 March 3



THE キャンパス

連載第3回

明治大学自動車技術研究部の巻

今月の大学自動車部紹介は全国学生自動車連盟に非加盟のクラブである明治大学自動車技術研究部に登場願った。クラブの活動は競技の参加は少ないがオンボロ車の修理、整備では伝統的に優秀なようだ。



▲MAECダートジムカーナ風景



▶キレイな? 部室にてミーティング

▼公害調査で日本一周したデリカ



◀クラブの駐車場にはダットサン210が鎮座している

女子部員はいないがソフトムード
全国学生自動車連盟には加盟していないが、体育系の多

い自動車部の中で今月は理科室の明治大学自動車技術研究部に登場してもらった。
クラブ創設は1952年で、今年で発足30周年を迎え

た。
部員数も当初は10人だったが現在では1年生11名、2年生11名、3年生9名、4年生14名の計45名。

女子部員はひとりも居ず全男子部員の男世帯。過去30年の歴史の中で2年前に卒業した2人の女性が唯一の部員であった。入部の説明会には



▶6万円で買った510でラリーに参加する伊藤君、ナビの鈴木君



「インタビューにに応じてくれた吉村幹事長の話では「自動車工学の研究と運転、整備技術の向上をめざす」が明治大学技術研究部のモットー。日常活動は平日4時から車の整備とミーティング。週末はヤビツ峠、秩父にラリーの練習のため出かける。81年の戦歴は上智大学ソフトウェアナイトラリー、学習院大学ナイトラリーの4位が最高で、志賀高原ラリー完走などもあるが、良い車に部は恵まれず、まだ実力発揮出来ずというところか?」

▶セリカで年間10戦はダートラに挑戦し上位を狙う綱島君



10、ダットサン210などあるが最近エルフ2トン車が富士演習所付近の複合カーブで全損。合宿は春、夏行なわれ、春は2泊3日の熱海で来年度ののための反省と方針を決める。夏は富士吉田の大学合宿で10日間行なう。ダートでのスラローム、高速S字、基礎などひと通り訓練するのが、クラブには、伝統的な2種目の競技がある。ブタの尻っぽくなる競技でエルフ(現在なし)でグラウンドを走り回り、タイヤの跡の両ワダチに1.5缶を並べ、その缶の間をクラウンで走って車両間隔とタイムを競う。それを潰すと新しいのと全力疾走で取替えるが、なかなか見つかるとクラブ員は嘆いていた。

▶目標は学生ラリー優勝と意気込むドライバ―石川君、ナビ滝沢君



もう1種目は「徒歩ラリー」で10キロの山道で行なう。前日にオフイシャルが100メートルの歩数を測り分速何分かをきめ、指示速度を守りながら歩く。服装は汚れたつなぎ、汚れていない場合は灰油を蒔いた上を滑り込ませる。第1・2SS(スペシャルステージ)があり、第1は山道を800メートル全力疾走第2は富士吉田駅前、若い女性を連れて来ることを競う。全国学生自動車連盟に参加していないため、フィギュア整備などはクラブ内での活動にとどまっている。毎年クラブのイベントとしてMAECダートジムカーナを6、12月の第1日曜日に主催しているが参加台数1000台で締切り。その活動も場

所の確保、スポンサー探しに駆けずりまわる。「運動部と違って、スポンサーは集まりにくい」そう

82年の活動を吉村幹事長は「エコランレース、フォーミラリージャパンなどのイベントに数多く参加したい」と語っていた。



▲クラブの駐車場にて記念撮影